

# 【小施策評価(令和元年度実績評価)】

## 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	3	人を育み未来につなぐまちづくり	小施策 主管課等	生涯学習課	
施策	18	生涯学習の推進	評価 責任者	川原 善弘	内線 7340
小施策	18-1	社会教育の充実	評価 シート 作成者	森田 美彦	内線 7341

## 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
市民一人一人が、生涯にわたり生きがいを持って充実した生活を営み、学んだ成果を社会に還元することができるように、社会的な課題と市民ニーズを把握した学習機会の拡充を図るとともに、生涯学習に関する相談に的確に対応していく必要がある。		学習情報の提供や学習相談への対応を適切に行うとともに、社会の変化に対応した課題に関する学習機会を提供するほか、地域や家庭における教育力の充実を図るための支援を行う。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
市民		学習活動の継続と推進を図る。

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

実績値の推移				実績の評価																																					
指標① 学びの循環推進事業の利用回数		単 位	目指す方向	成 果 点	成果の要因分析																																				
当初値 (H25)	148	回	↗																																						
R1目標値	155																																								
R6目標値	163																																								
<table border="1"> <caption>実績値の推移 (学習の循環推進事業の利用回数)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値 (H25)</td> <td>148</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>138</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>127</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>138</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>145</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>159</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> <td>163</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値	目標値	当初値 (H25)	148		H27	138		H28	127		H29	138		H30	145		R1	159	155	R2			R3			R4			R5			R6		163	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの循環推進事業は、多彩な講座メニューを用意し、市民グループの申請に基づき、講師を派遣する事業であり、市民の継続的な学習活動に活用されている。</li> <li>・家庭教育支援、青少年教育など社会教育事業の提供により、市民の学習機会の充実が図られている。</li> <li>・中学生リーダーや新成人のリーダーが育成されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの循環推進事業は、社会的な課題と市民ニーズに応じた講座メニューの提供に努めたこと。</li> <li>・家庭教育情報誌の発行、社会教育関係団体への活動支援など、各種社会教育事業が継続し行われていること。</li> <li>・教育振興運動や中学生交流事業を継続実施することにより、中学生リーダーの養成につながっていること。</li> <li>・成人のつどい実行委員会を新成人で組織し、企画運営に参画することにより青年リーダーの養成につながっていること。</li> </ul>
年度	実績値	目標値																																							
当初値 (H25)	148																																								
H27	138																																								
H28	127																																								
H29	138																																								
H30	145																																								
R1	159	155																																							
R2																																									
R3																																									
R4																																									
R5																																									
R6		163																																							
				問 題 点	問題の要因分析																																				
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの循環推進事業」において、依頼を受ける講師に偏りがある。</li> <li>・防災・環境など社会的な課題に関する講座への講師派遣が減少している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの循環推進事業」において、市民が希望する講座や講師が登録されていない場合がある。</li> <li>・社会的な課題に関する講座のテーマの見直しや更新が進んでいない。</li> </ul>																																				

## 今後の方向性(令和2年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>★…R2年度着手済または着手予定</li> <li>☆…R3年度以降の着手を検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 学びの循環推進事業は、防災・環境など社会的な課題や市民ニーズを把握し、新たな講座に対応する講師を発掘するよう努める。</li> <li>★ 学びの循環推進事業は、家庭教育学級や社会教育関係団体等の会議の場などを活用するなど効果的な周知方法を検討する。</li> <li>★ 家庭教育支援、青少年教育など社会教育に係る学習機会と団体の育成支援の継続に努める。</li> <li>★ 中学生リーダーや新成人リーダーの育成の継続に努める。</li> </ul>	